

## 公述の内容

公述人 1	
公述の内容	<p>○新山梨環状道路北部区間の1, 150億円というお金を東北関東大震災の被害を受けた方のほうへ回すべき。</p> <p>○電車とか、バスとか、交通機関をまず充実させてはいかがか。</p> <p>○特に高齢者の方とか、児童の方、子どもたちにとって、便利になる。そのようなものを運行した場合に、経費がどのくらいかかるか、そういったことを試算してもらえないか。</p>

公述の内容

公述人 2	
公述の内容	<p>○地区を2分する10何年前の計画時点から、人口や周辺の道路は変化している。</p> <p>○反対意見に対してきちんと説明をしてもらい、だから皆さんも賛成に回ってくれないかとか。こういうコンセンサスが、ほしかった。</p> <p>○この事業で負の財産を残して、子供や孫に費用を背負わせてしまうということを考えてほしい。</p>

公述の内容

公述人 3	
公述の内容	<p>○トンネルによる地下水脈の破壊など、生活用水や生態系への影響が予想される。</p> <p>○愛宕町下条線の開通により、山の手通りの交通量は減少し、20号線の交通量も減っている。今後も減少すると思われる。</p> <p>○この計画原案では立ち退かざるを得ない住民がたくさんおり、中にはこの案に納得していない方々もたくさんいる。</p> <p>○これ以上自然を破壊し、住民に納得いかない立ち退きをさせてまで造らなければならない道路なのか。</p> <p>○古い道路を整備するなど大切な税金をもっと正しく使うべき。</p> <p>○1000兆円にも達しようという国全体の赤字財政の中でこれ以上の道路建設は無謀といわざるを得ない。</p> <p>○したがって都市計画原案に反対である。</p>

## 公述の内容

公述人 4	
公述の内容	<p>○公聴会は、学識経験者が出席すべきではないのか。巨大地震のときにあえて開催する意味はあるのか。</p> <p>○莫大なアンケートを実施されておりながら、私の家には配布されず、そのアンケートの結果内容も知らされていない。</p> <p>○甲府及び韮崎都市計画道路の変更に係るといふ変更の意味は。</p> <p>○排気ガス、粉塵、騒音、その3点のことをどのように考えているか。</p> <p>○国道20号等からの騒音、排気ガスをできるだけ防止してもらいたい。</p>

公述の内容

公述人 5	
公述の内容	<p>○現在も県道葦崎甲府線、国道 20 号、金剛地道に面しており公害を受けている。今以上の公害を受けなければならないのか。</p> <p>○第 1 種住居専用地域に建設して良いのか。今年になって環状道路の中に入る住宅を 5 軒建設しているがなぜ許可したのか。</p>

公述の内容

公述人 6

- 公述の内容
- この道路を建設する目的が、非常にあいまい。当初からこの計画に具体性がなく、大義名分が失われていることを証明しているのではないか。
  - 山の手通りの一部4車線化、茅ヶ岳東部広域農道の建設、愛宕町下条線の開通等、北部区間に関連する道路の整備が進み既に必要性がなくなっている。
  - 費用対効果の3.1という数字は、他の道路を考慮して見直しが必要ではないか。
  - この道路の建設には、約1,150億円の税金が使われ、完成までには10数年かかると聞いているが、これ以上借金をつくってはならないことです。
  - 公共交通機関を充実し、車に依存しないバリアフリーのまちづくりに、力を入れるべきではないか。
  - トンネルから排出される残土や、排気ガスについて、いまだに納得のいく説明がない。トンネルの掘削によって、各地で生態系が変わり、あるいは地下水脈が枯れるなどの異変がおき、景観や景色に悪影響を及ぼしている。
  - 荒川の金石橋上流にかかる、橋から発生する低周波振動や、トンネルから排出される排気ガスの住民生活への影響など、環境面でも不安はあるが説明されていない。
  - 今回発生した東北関東大震災の復興資金にこそ、優先的にこのお金を使われるべき。

公述の内容

公述人 7	
公述の内容	<p>○当初からこの事業にはP I、パブリック・インボルブメント、例えば方式を用いて十分な住民の意思を尊重すると言明しながら、合意形成の方法が不十分であり強引である。</p> <p>○景観のいい、やすらぎ苑の前を、大きな道路が走って、公害を、粉塵を、排煙を引き起こすということは許せない。</p> <p>○たかが15キロの道路を通すために、1,150億円もの巨費を投じることは遺憾。</p> <p>○国道20号線、旧20号、旧52号線、山の手通りで拡張工事をしており、車もだんだん減ってきており必要ない。</p>

公述の内容

公述人 8	
公述の内容	<p>○この新山梨環状道路北部区間の道路が必要であるとは思えない。</p> <p>○昨年10年の7月22日、双葉での会合の折に、造る理由を説明されたんですけども、その理由ではどうしても必要である道路と、私が納得することはできませんでした。</p> <p>○こんなに太陽が濃く、緑も多い自然環境のすばらしいところに、富士山をはじめとして、大きい山々を毎日眺めながら、老後を静かに過ごしたい。</p> <p>○必要としないような道路を作る費用があるならば、東北の方々の支援に使っていただきたい。</p>



公述の内容

公述人 9	
公述の内容	<p>○平成9年の航空写真撮影時と、現在の環境は大きくなって変わっている。本当にこの環状線は必要な道路か。</p> <p>○新しい環状道路より、東北災害地の復興のほうを優先し、国を挙げて立ち上がるべき。我が家は避けて欲しい。</p>

公述の内容

公述人 10	
公述の内容	<p>○こういう道路を造るお金を、東北のほうにまわす必要がある。</p> <p>○自分としてはこの土地に住み続けたい。</p>

公述の内容

公述人 11	
公述の内容	<p>○住居専用地域を通過する計画であるが、まず環境への配慮が本当に不十分。今の状況をもう一度航空写真から見て再度ルート設定すべき。</p> <p>○この道路を造って山梨に経済的な効果があるのか。これを造ることによる経済的な効果を、具体的に示していただきたい。</p> <p>○外とつながる道路を造ってもらいたい。それができないのであれば、道路は造らないで結構なので東北に回してください。</p> <p>○渋滞が緩和だけであるなら、今の道路を広げるべき。</p>

公述の内容

公述人 12	
公述の内容	○新しい道路は、今の現状からまったく必要ない。既に出来た新しい道路で十分である。 事業費は被災者の方に差し上げてほしい。

## 公述の内容

公述人 13	
公述の内容	<p>○地球環境の悪化を食い止めることは、財政健全化と両立すると思います。</p> <p>○後世の世代に借金を残さないことと、自然環境を壊さないことは両立する。生きる道路の建設、修復で混雑が緩和されたのであれば、それ以上の自然破壊をやめるべき。</p> <p>○1千兆円近い国の財政赤字に、誰が責任を負うのか。</p> <p>○便利だからといってみんなで自然を破壊していたら地球はどうなるでしょうか、そのことについて考えてみるべきです。</p>

公述の内容

公述人14	
公述の内容	<p>○借金で道路を造って返し終わらないうちにまた次の道路を造るという悪循環が続いている。</p> <p>○採算性を無視した計画である。</p>

公述の内容

公述人 15	
公述の内容	<p>○クマ、サル等の動物の生息環境が破壊される。</p> <p>○労力やお金を東北の人たちのライフラインのほうに回すべき。</p>

公述の内容

公述人16	
公述の内容	<p>○現在、本当に富士山がきれいに見える景観が悪化する。</p> <p>○新たに越してきた子供達が再度移転になりかわいそう。</p> <p>○今でも、旧国道20号とバイパスが目前にありま、大気質、振動の影響が懸念される。</p> <p>○お金があるのであれば、東北のほうの人たちを助けていただきたい。</p>



公述の内容

公述人17	
公述の内容	<p>○排ガス問題、環境問題、地球温暖化が深刻になっている中で必要なのか。</p> <p>○もし道路が渋滞するのであれば、渋滞箇所をはじめに整備すべき。</p>

公述の内容

公述人 18	
公述の内容	<p>○人口、あるいは交通量減の中で不要の道路となるということが分かっている。</p> <p>○平成42年の交通量推計値が2万1千台から2万8千台と見込んでいる根拠が分からない。</p> <p>○周辺道路が整備されてきており、1,150億円もの莫大な費用をかけて、新たな道路を造るには及ばない。</p> <p>○被災者の皆さんに、援助の手を差し伸べることこそ、今、求められている最大の最優先課題。</p> <p>○この案に納得していない方が合意するまでこれを認めるわけにはいかない。強制撤去は絶対反対です。</p>

公述の内容

公述人 19	
公述の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>○盛土では六反川が満水になった際の堤防となり周囲が冠水する。</li><li>○事業費は復興支援にあてるべき。</li></ul>

公述の内容

公述人 20	
公述の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>○1, 150億円も設計変更で1, 500億くらいになっておかしくない。</li><li>○山の手通り、20号線の交通量が減っているという事実も、合わせて本当に必要なのかということを、改めて真剣に考える必要がある。</li><li>○交通量が2万1千から2万8千に下方修正されていますが、これでも多すぎる。</li><li>○この建設は中止し、災害復旧、インフラ整備に全力を挙げるべきです。</li></ul>